

新潟県女性センター情報 No.63

2007. 9. 18発行

この度の新潟県中越沖地震でお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

財団法人新潟県女性財団 役職員一同

地域セミナー委託事業

今年度から実践経験豊富な住民団体に、地域セミナーの企画・実施を委託する形式を取り入れることにしました。その1つである「フェミニストカウンセリング実践講座」の公開講座第1弾が7月26日（木）に開催されました。その報告を、事業の委託を受けた団体のスタッフにしてもらいました。

NPO 法人新潟フェミニストカウンセリングセンターまど（以下 FC センターまど）は、女性や子どもあるいは必要としている方々に、カウンセリングという心理援助をもって、社会貢献をしているカウンセラーの専門集団です。FC センターまどでは財団の「地域セミナー委託事業」に「フェミニストカウンセリング実践講座～私を大切に生きるために～」の公開講座 2 回分として応募、決定をいただきました。この講座はフェミニズム理論を男女共同参画にどう活かすのか、実践としての毎日の暮らしをどう生きやすくするのか、女性たちが自分自身の内面と向き合い、社会との関係を考える中から「心の自立・自律」を回復することをサポートするものです。

先般の7月26日（木）、中越沖地震の衝撃も収まらない中ながら、県内各地から31名の参加を得て第1回を開催することができました。巻頭タイトルを「カウンセリングとは…そしてフェミニストカウンセリングの目指すものは」とし、女性の生き難さを内面から解き放つ心理援助の実践について、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会の代表理事であり、ウイメンズカウンセリング京都の井上摩耶子さんにお話をいただきました。そのエッセンスをお届けいたします。

(1) フェミニストカウンセリング（以下 FC）の命題は Personal is Political＝個人的な事は政治的なことである。なぜなら、女性たちの心理的な葛藤や自己尊重感の低さ、非力感はその女性個人の欠陥ではなく、また生育歴だけでも還元できない。そのもとは男性中心社会における社会、文化的要因にあるからである。従って FC とは女性・子どもの人権侵害を許さない、容認しないカウンセリングである。(2) 女性達が自分の体験を言語化する中で、問題に「DV・虐待・セクシュアルハラスメント」と名付けがなされ社会を変えてきた。

(3) 日本の男女間の賃金格差は男性を100とした時女性は66.8である。ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が遅れている。(4) 「女らしさ」「男らしさ」というジェンダー拘束と心理的葛藤により、女性は自己との関係を失い、男性は他者との関係を失う。「らしさ」拘束は女性に過剰責任行動を、男性にコミュニケーション不全症候群をもたらす。(5) 女性たちはジェンダー役割や社会規範、制度を検証し、自分達が生活している政治的・社会的文脈が個人的な悩みや困難に影響していることを発見した。カウンセリングは個人の内面変化を目指す、フェミニストカウンセリングは同時に社会の変革も目指すものである。と力強くお話をいただきました。そして私たちはこの実践を通して、こころ響きあう草の根のネットワークなかまを、広域的に創ることも大事にしたいと考えています。次回公開講座、「女性のこころの自立・自律とは」もお楽しみに！

【報告者/NPO 法人新潟 FC センターまど代表 荻野茂子】

公開講座 第2弾

「女性のこころの自立・自律とは」

～親との、子どもとの心の葛藤…なぜ私はこんなに苦しいのだろう
フェミニストカウンセリングで読み解く母と娘の親子関係～

【日時】10月28日（日）10:00～11:45

【会場】アルザにいがた（新潟市万代市民会館2階）

【講師】加藤伊都子（フェミニストカウンセリング県代表）

【参加費】2000円 【定員】40名

【保育】定員9名。協力費200円。

【×切】10月24日（水）

【後援】新潟県女性財団、新潟市、NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会

【主催・申込み・問合せ先】

NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンターまど

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町 2-18

にいがた男女共同参画 ウィーク

にいがた男女共同参画ウィーク（11月23日～12月1日）のイベントを一部紹介します。期間中、ユニソンプラザで行われるイベントには全て一時保育が設置されます。2週間前までにお申込ください。申し込み方法等の詳細については、お問い合わせください。ちらし（10月配布予定）やホームページでもお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

【会場】新潟ユニソンプラザ

- 11月23日（金・祝）
「オソオセヨ～！朝鮮料理モッチャの会」北東アジアの女性史を学ぶ会
「性同一性障害を知っていますか？」REALIVE
- 11月25日（日）
「親子で作って！食べちゃおう!! Part2」フリーケミスト
「親子で作って！遊んじゃおう!! Part2」フリーケミスト
- 11月26日（月）
「おはなしの世界へようこそ“さるかに合戦”」まいちこの会
- 11月28日（水）
「はつらつ職場支援セミナー」（財）21世紀職業財団新潟事務所
- 11月30日（金）
「働く女性の悩みホットライン」女のユニオンにいがた
- 12月1日（土）
「みち・まち・くらし～みちとエコロジーを考えよう～」
NPO 法人越のみちネットワーク女性会議
「安心して、働き続けるために」連合新潟女性委員会
「離婚時の年金分割制度から見える女性の人権」北京JAC・新潟
「パパ's 絵本プロジェクト☆絵本ライブ！」子育てハンスどっとねっと
「マンナム！キムチ作りの名手・在日一世ハルモニのお話をきく会」北東アジアの女性史を学ぶ会
「“くらす・育てる・働く”ボクたちの Good Balance」Happy Balance

■ 主催イベント

パネルディスカッション

「災害からみえてきたもの～その時 女性は…～」

12月1日（土）13:00～16:00

4階大会議室／定員 100名

参加費 無料

2007年7月16日10時13分中越沖地震が発生しました。災害など非常時には、さまざまなことがみえてきます。阪神・淡路大震災及び新潟中越大地震の体験者をパネリストにお迎えします。災害を“女性の視点”で考えてみませんか。

【会場】アルザにいがた

- 11月24日（土）
「無名の人～石井筆子の生涯～」にいがた女性会議
「若い家庭に伝えたい！～暮らしのこと家計のこと2007～」新潟友の会
- 11月25日（日）
「子どもの声が聞こえていますか」（社）国際女性教育振興会新潟県支部
「いま、女性の足を引っばるものは何か」にいがた女性会議男女平等教育部会
「『自分の介護』がやってきた」にいがた女性会議介護・自立部会
- 11月27日（火）
「女性とうつ～あなたは一人ではない～」NPO 法人新潟ミニストカウンセリングセンターまで
- 11月29日（水）
「あなたの再就職のご相談に応じます」（財）21世紀職業財団新潟事務所
- 11月30日（金）
「こことからだセミナー～親子で明るく語ろう！性教育 Part2～」にいがた女性会議こことからだ部会
「新聞から何がみえるか～PartIVあとの祭りにならないために2～」メディア研究会
「男女の差がなくやってくる裁判員制度～今から学びましょう～」にいがた女性会議
「『わたし』を大切に生きるために～DV・児童虐待を考える～」NPO 法人ウィメンズサポートセンターにいがた
- 12月1日（土）
「育児も仕事もというけれど…育児休業と職場復帰の実態調査から」（社）大学婦人協会新潟支部
「ヒーリングから聴いてみよう～カラダのリズム☆ココのリズム～」NPO 法人女のスペース・にいがた
「輝くって!!私、身もこころもハツラツ～日々、感動してますか!?!～」イキイキ健康ふれ愛クラブ
「自治会と私とコミュニティ協議会～自治会における男女共同参画を考える～」市民大学自主ゼミの会
演劇「年女の恋」劇団blue ジーンズ
- アルザフォーラム
11月23日（金・祝）
6階ホール／定員 280名／参加費無料
基調講演「創りだす関係～女の視点・男の視点～」
講師 辛淑玉（人材育成コンサルタント）
11月24日（土）
「思春期の子育て分科会」「格差社会分科会」
「こことからだ分科会」「癒しの部屋」

地域セミナー

今後、様々な内容の地域セミナーが開催されます。各セミナーの詳細については、それぞれの「申込み・問合せ先」へお電話ください。当財団のホームページでも詳細がご覧いただけます。

◆地域セミナー in 上越 「明日の暮らしに女性の声を」

日 時	12月1日(土) 13:30~15:30	12月8日(土) 13:30~15:30
会 場	ユートピアくびき希望館 (上越市頸城区百間町716)	上越市市民プラザ (上越市土橋1914-3)
講 師	大島 誠さん(くびき野 NPO サポートセンター理事長)	

【主催】新潟県女性財団、上越市

【申込み・問合せ先】上越市男女共同参画推進センター TEL 025-527-3624/FAX 025-522-8240

◆地域セミナー with 姥ヶ山自治会女性部 「自分らしくいきいきと」

日 時	内容・講師	会 場
10/13(土) 13:30~15:00	「自分らしく輝くための健康体操教室」 講師：伊藤千賀さん(chikaプロモーション代表取締役社長)	姥ヶ山会館 (新潟市姥ヶ山4-15)

【主催】新潟県女性財団、姥ヶ山自治会女性部

【申込み・問合せ先】新潟県女性財団 TEL 025-285-6610/FAX 025-285-6630

講座レポート

長岡市で9月5日に「ワーク・ライフ・バランス」を考える講演会&シンポジウムを開催しました。担当者からのレポートです。

今年度、女性財団では長岡市と(財)21世紀職業財団との共催で「ワーク・ライフ・バランス」を考えるシンポジウムを企画しました。長岡市立中央図書館講堂にて「経済活性化の鍵は女性も男性も働きやすい職場づくり」と題して長岡市内および周辺地域の事業主・人事担当者を対象に基調講演とシンポジウムを行いました。(株)カミテの上手康弘社長の基調講演と、シンポジウムには、社長の他に県の男女平等社会推進課長、21世紀職業財団新潟事務所長、長岡地域産業保健センターコーディネーターが加わり、当財団の大島理事長が進行しました。

当日の会場は定員をオーバーする196名の参加者で、上手社長のわかりやすい言葉で伝えられる講演に会場は静まりかえり、真剣にメモをとる人も多く、うなずきながら聴き入る女性もみられました。シンポジウムでは、フロアとの意見交換も活発で、女性の職場における切実な声も聞くことができました。

秋田県にあるカミテは従業員31名の小さな会社(プレス金型の設計・加工)ですが、女性も男性も働きやすい素晴らしいシステムが確立されている企業です。事業所内に託児施設も設けられ、育児・介護の休業制度、その他の特別有休制度も万全で、その制度を活用するための人材も多能工による欠員カバーで従業員が安心して働くことができ、有効に休みが取れる仕組みになっています。カミテの経営理念の一つが社員と会社の双方の発展・幸福を追求し、明るく楽しい職場づくりをめざすということですが、これはまさしく「ワーク・ライフ・バランス社会」をめざすということ。私は、この企画に関わることができ、とてもよかったと思っています。はじめに、タイトルを聞いた時、これはとてもタイムリーなテーマで集客も容易にできるだろうと思っていました。ところが、なかなか人が集まらない状況が続き、一時はどうなるのかと不安になりました。と同時にこのテーマの知名度や理解度がまだまだ低いのだということも認識しました。その後、スタッフの必死の協力によって、会場を満員にすることができました。また、終了後のアンケート結果から今回の事業が非常に意義のあるものであったと痛感しました。

「ワーク・ライフ・バランス社会」への理解度はまだまだ低いというのが、現状です。しかし、今回参加された多くの方々が先進企業の具体的な実践事例を知りたいとアンケートに記入していました。今回参加された方々が今後もこのテーマに興味を持ち、職場環境の改善が改革の第一歩であることに気づいていただけたら幸いです。そしてまずは、企業のトップの意識改革なくしては、本当の意味での「ワーク・ライフ・バランス社会」は、生まれないと考えます。私は、今回の財団のこの企画を第1回目として今後も継続していくことの必要性を強く感じました。最後に関係者の皆様!お疲れ様でした!!

【報告者/新潟県女性財団企画運営委員 佐藤直子】

又エック研修報告

国立女性教育会館（又エック）で開催された「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」に企画運営委員が参加してきました。その様子を報告してもらいました。

「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム～女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～」が、8月31日から9月2日に行われました。「新たな取組みを必要とする分野への参画をめざして」をテーマに、67のワークショップと8件の展示がありました。私は7つのワークショップに参加しました。そのうちのいくつかを報告します。

★社会的性別（ジェンダー）による暴力を断ち切る！～人権教育実践からの提案～（NPO 法人 SEAN）

幼稚園や高校生では、対象によって固定概念の定着率は異なり、年齢が低いほど柔軟に対応するということでした。意識に及ぼす環境の影響の大きさは否定できないと思いました。

★NPO 活動と指定管理者制度（NPO 法人参加プラネット）

活動には、スタッフの能力や学び・育てる姿勢と実践は必須条件である。目標をたて、計画的に実践している体験発表でした。

★アートとフェミニズム（フリートーク、個人参加坂本さん主催）

アート教育はどうすべきか。性とアートの区別はできるのか。裸婦は芸術か？裸で戸外にいると犯罪だが裸のアートはどうなるのか。女性は裸婦の絵画や彫刻を美しいと感じるのだろうか。恥ずかしいと感じる人もいる。男性の視点で作られたものだから、女性ははっきり否定した方がよい。

全体をふり返ってみると、日本中から集まった人たちと活動内容や意見交換ができたことで、私の視野が広がりましたし、いろいろな人の声を聞くことができたことは、とても貴重な経験でした。また、異なった立場の人と交流することで、これからの課題に気づくことができました。今回は、出会いと交流、自分を見つめるよい機会でした。時間の余裕がなく、現地で散歩をしたり、図書館を利用できなかったのが心のこりでした。

【報告者／新潟県女性財団企画運営委員 山本博子】

県内の情報

働く女性・男性のための出産、育児に関する県の貸付金のご案内

県では、育児・介護休業制度の定着と積極的な取得促進を目的として、育児または介護休業を取得する人や、勤務時間の短縮制度を利用しながら育児、介護を行う人に対して、休業中または時短制度利用中の生活資金を低利で融資しています。新潟県労働金庫本店・支店の窓口へお申し込みください。詳細については、最寄の労働金庫または下記へお問い合わせください。

【問合せ先】新潟県産業労働観光部労政雇用課労働福祉・雇用均等係 TEL 025-280-5260

県外の情報

子育て支援者パワーアップセミナー2007

グループワークや絵本の読みあいワークショップなどユニークなプログラム構成で、「関係づくりの視点」を体験的に学ぶ2日間集中セミナーが開催されます。

詳細については、下記へお問い合わせください。

【開催日時】2007年11月26日（月）10:00～17:00 27日（火）10:00～16:00

【会場】日本女子会館（東京都港区芝公園2-6-8）

【問合せ先】財団法人日本女性学習財団 TEL 03-3434-7575 <http://www.soc.nii.ac.jp/jawe2>

★★★

★ 7月に実施しました「人材育成プログラムに関するアンケート調査」及び「情報発信機能に関するアンケート」

★ にご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果は今後の事業の参考にさせていただきます。今後とも、当財団の事業の推進につきましてご協力よろしくお願い申し上げます。

★
★
★★★

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail balansu@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~balansu/>

携帯電話用のホームページは、上記アドレスの後に / i / をつけてください。